

未来のミナミ

まちづくりビジョン 2030

—伝統と革新が息づくミナミの良さを知ろう!—

日時 12月8日(土)

開場 12時30分 開演 13時
(16時終了予定)

会場

なんばスカイオ7F
コンベンションホール
大阪市中央区難波5丁目1-60



海外からの注目を集め、大きく躍動し、変化しつつある大阪・ミナミ。ミナミを盛り上げようと、地元の企業や商店街が立ち上げたミナミまち育てネットワークが設立10周年を機に、「未来のミナミ」を考えるシンポジウムを開催します。これまでの活動の成果を踏まえ、2030年に向けて、これからミナミをさらに魅力的なエリアにしていくにはどうすればいいか。伝統芸能、グルメ、ビジネス、エンターテインメントなどさまざまな角度から意見交換します。これからのミナミと一緒に考えてみませんか。

（主催）ミナミまち育てネットワーク

ミナミにゆかりの企業や商店街など、約120の会員で組織され、「活力あふれる大阪」「躍動に満ち、安全で楽しく、常に新たな魅力を生み出すミナミ」の実現を目指し、活動しています。

ミナミまち育てネットワーク
10th Anniversary

プログラム

- 開会挨拶 山中 謙氏 ミナミまち育てネットワーク会長（南海電鉄取締役相談役）
- 特別講演 「大阪・関西の発展にミナミが果たす役割」
春野 恵子氏（浪曲師）
- 浪曲披露 春野 恵子氏（浪曲師）、一風亭初月氏（曲師）
- パネルディスカッション
「世界の玄関口 大阪・ミナミの将来展望」

今井 雅子氏 脚本家

堺市出身。主な作品に連続テレビ小説『てっぱん』、堺が舞台のオリジナル脚本映画『嘘八百』、Eテレ『昔話法廷』『おじやる丸』。最新作は移住促進ドラマ『イジューは岐阜と』。2012年より堺親善大使。

江 弘毅氏 編集者／著述家

1988年京阪神エルマガジン社に移籍し『ミーツ・リージョナル』誌を立ち上げる。『K氏の大坂弁ブンガク論』『いっときかなあかん店・大阪』など大阪に関しての著作多数。

橋爪 紳也氏 大阪府立大学教授

大阪府、大阪市特別顧問。冬の風物詩として定着した「大阪光の饗宴」を始めとする数々の名物事業を牽引（けんいん）してきました。

粟野 光章氏 高島屋常務取締役大阪店長

ミナミのランドマーク高島屋大阪店。1932年の開店以来、ずっとミナミの街とともに歩んできました。現在、大阪店は高島屋グループの中で一番の売り上げ高を誇っています。

コーディネーター 山上 直子氏 産経新聞論説委員

応募方法

- ①〒・住所②氏名③年齢④職業（会社名・学校名）⑤電話番号
⑥参加人数を明記して、はがき、メール、FAXでご応募ください。応募者多数の場合、抽選のうえ当選者に招待状をお送りします。

はがき

〒556-8666（住所不要）

産経新聞開発内

「ミナミまち育てシンポジウム」係

FAX

06-6633-2709

※件名に「ミナミまち育てシンポジウム」と明記してください。

メール

m-sinpo@esankei.com

※件名に「ミナミまち育てシンポジウム」と明記してください。

◆締め切り
11月26日(月)必着

◆お問い合わせ
06-6633-6804
(平日、10時～17時)

※応募者の個人情報は当選者への招待状の発送と運営事務局からの連絡のみに使用します。



参加費
無料

要事前申込み
定員/300名

春野 恵子氏
はるの・けいこ
浪曲師

